

# 春の香り

～量子の泡、知覚、と現実についての考え～



- 玲亜: 時には、この全世界がほんの小さな泡であるかのような気がします…
- ミン: 本当に? 私は反対にまるで果てしなく無限の宇宙があるかのように感じます。
- ティム: どちらも本当じゃないかしら。それには正解はないと思うよ。
- ティン: いいんじゃない。すべての知覚は本質的に歪んでいます。
- 悟: (うなずく) そうですね。「現実をありのままに見る」という話をされると、私はただただ笑ってしまいます。

- T Newfields (和訳: 槌屋メリッサと新田博)

開始: 2011年東京都 ★・完成: 2021年横浜市

